

塚田 英里

C：福島県スパリゾートハワイアンズコース

今回、福島県を訪問して、私は人間の再生力というものに驚かされました。塩屋崎灯台、いわき市沿岸地区を歩き、やはり瓦礫の跡を見ると、今でもすさまじかった地震の爪痕を見ることができました。しかし、多くの仮設住宅が建てられたいわき市内を見ると、福島で生活を再建させようとする人の力強さを感じずにはられませんでした。

参加者の中には、自分自身が被災した方もいらっしゃって、当時の経験を語って頂いた。これは震災を忘れないということであり、忘れられないことで、日本人として絆を強めていけるのだと感じた。私は東北に親戚は居らず、東北の地を訪れたこともなかったのだが、今回自らの意思で現地を訪れてみたいと思い、実行に移したことが大変有意義だったと思う。同じ日本で起こった東北大震災を、我が目で見て感じるのと、テレビのニュースを観て感じることは全く違うと感じたからだ。自分自身が被災した方々と全く同じ立場に立てなくても、いつ自分がそのような経験をするかは分からない。自分がその立場に立ったとき、人間の絆の尊さを感じることができると思う。

福島はフラダンスなどの文化や、自然の美しさなども素晴らしく、地元の人々の愛着が感じられた。

また、ぜひ訪問して、今後の福島を見て行きたいと感じた。